

⑤ 磯山友幸 著

『ブランド王国スイスの秘密』

(日経BP社)

人口わずか七百五十万人の小国、スイス。その生活水準は極めて高いものです。自国で賄える資源は極めて乏しく、国土の大半は高山が占める。そういう厳しい環境の中で、「クオリティ・オブ・ライフの高さ」という豊かさを築くことができたのはなぜでしょう。本書では、目には見えない「無形固定資産」である「ブランド」を主軸に、スイスの秘密に迫ります。

332.345-Iso (K.K.)

⑦ 陰山英男・神山潤・瀬川昌也 著

『「早起き」は生きる力!』

(晶文社)

昭和40年代の頃は「子どもは9時に寝る」それが当たり前でした。しかし、24時間営業の店が建ち並び平成の時代ではとても考えられないことになってしまいました。その結果、子どもたちの体力・学力の低下をまねいてしまったと著者の方々は力説されています。

本書は規則正しい生活がどのように脳に影響するかを医学的に分析し、解説しています。とても納得できる一冊です。この本を読んでもう一度自分自身の生活を見つめてみてはいかがでしょうか。

379.9-Haya (N.K.)



⑥ 尾崎茂 編・著

『先生のための著作権入門の入門』

(学事出版)

プレゼンである作家のある短編小説を取り上げることにしました。本やインターネットで見つけた情報やデータ、画像を使って発表内容をまとめて、さらにその作品の全文コピーも資料として配布しよう…。あれ、これって著作権法違反!?

書籍などの刊行物はもちろんのこと、インターネット上の文章やデータ、画像にも著作権があります。著作物の利用には、著作権者の許諾を得るのが原則です。しかし、私的使用のためや学校の授業の過程で使用するためなど、一定の条件の下でなら、著作権者の許諾を得ることなく著作物を利用することができます。本書では教育現場ならではの具体的な実例が挙げられており、先生だけでなく学生さんにも読んでいただきたい著作権入門書です。

021.2-Sens (N.T.)

⑧ 藤田哲也 編著

『大学基礎講座：充実した大学生活をおくるために』改増版

(北大路書房)

皆さんは入学してみて、高校までの授業とのギャップに戸惑った事はありませんか。どのように勉強を進めればよいか迷った事はないでしょうか。本書のサブタイトルが「充実した大学生活をおくるために」となっている通り、学生としての学び方を基礎から教えてくれます。内容はノートを取り方から始まって、高校の時との違いを示し、具体的にどのようにしたら効果があるのかを解説しています。図書館の利用法や論文の書き方もあり、ゼミ発表の仕方まで終わっています。大学や短大の初年次から卒業年次まで、授業で使う教科書以外の、もう一冊の教科書として活用してみてもいいのではないでしょうか。

377.15-Fuj (T.F.)